

<週報No.2, 881> 2, 992 回例会

2019年5月17日(金)

■副会長/岩波 寿亮 ■幹事/加藤 明博

◆司会=伊藤武利 SAA

◆ゲストビジター=本日はいらっしゃいません

◆出席報告

本 日	69.05%	18名欠席
前 回 訂 正	82.98%	8名欠席

◆ラッキーナンバー=No.30 折井 俊美君

◆ニコニコボックス=●加藤明博君=本日は、古屋会長が例会欠席となります。岩波副会長、宜しくお願いします。●山科光一君=結婚祝いのお花頂きました。ありがとうございました。●竹上幸治君=結婚祝いのお花を頂いて●北川和彦君=チャリティーゴルフお世話になりました。成績は散々でしたが、懇親に勤めました。●河田康幸君=本日卓話をさせていただきます。つたない話ですが宜しくお願い致します。●折井俊美君=ラッキーナンバーに当て。

◆会長告知・岩波寿亮副会長=立夏から小満へと向かうこの季節は、一年で最もさわやかな時期です。先週の土曜日、諏訪グループポリオ撲滅チャリティーゴルフコンペが三井の森にて開催されました。諏訪クラブからも多くの会員の皆様のご参加を頂きましたが、事前のご案内や交通の便など、配慮の足りない点がございましてご迷惑をお掛けいたしました。当日は天候に恵まれ、和やかな親睦と奉仕、そして広報活動のロータリーデイとなりました。3月の例会で頂きました募金と併せ、グループとして264,000円をロータリー財団へ送る事になります。プレー後の懇親パーティーには、小ロガバナー補佐予定者も駆けつけ、初めての開催を労うと同時に、次年度へ向けての課題を確認されました。また、一昨日は諏訪グループ会長幹事会の新旧引継ぎ会、懇親会も開催され、その中で2020-21年度のガバナー補佐予定者として、岡谷クラブの矢島進会員が選出されるなど、いよいよ次年度へのエンジンがリズム良く始動し始めております。更に、本年度のIMについても報告がございました。今回は実質予算ゆえ、その報告書も子供の成長アルバムのように

なかわいい体裁です。記録映像のDVDと併せてクラブに1冊ずつ配布されましたが、その中に大豆生田啓友先生の講演を聞いた市民の感想がございましたので、ダイジェストで紹介申し上げます。「先生の講演内容は、ロータリー、父親、母親、保護者、子育てに関わっている人、孫を育てている祖父母等、どの立場にいる人にとってもエールとなる良い内容でした。また同じフロアで一緒に話が聞けた事が良かったです。皆さんは、企業経営など社会的立場をお持ちの方々だと思いますが、大豆生田先生の講演を聞いて頂いた事で、子育てしながら働いている事の悩みや苦勞、子育て支援の大切さなどについて理解を深められたのでは無いでしょうか。また、クラブの皆さんがメモを取ったりしながら真剣に聞いておられる姿を拝見し、びっくりしました。今回初めてロータリーの方々が大変な活動をされていると知り、地域の中でもお声がけしてみようと思います。」など、講演だけでも価値あるIMであった事を感じております。いよいよ諏訪クラブの出番。新会長・幹事中心に小ロガバナー補佐、河西IM実行委員長を支えて参りましょう。

◆幹事報告・加藤明博幹事=①本日のクラブフォーラムは新入会員卓話です。河田さん宜しくお願いします。②5月末の例会がゴルフ例会となる為、6月の予定をお伝えします。6月7日は、次年度に向けて、会長幹事、役員の方達からお話があります。翌週14日は創立62周年で、会報、雑誌、広報の皆さんの担当です。6月21日、28日は今期役員の挨拶となりますので、宜しくお願いします。

◆クラブフォーラム ●新入会員卓話・河田康幸会員=皆様、改めまして河田でございます。昨年7月より入会させて頂いておりまして、もうじき1年になりますが、ロータリークラブの活動は大変意義深く感じておりまして、これからも出来得る限り参画して参りたいと考えております。どうぞ



宜しくお願い申し上げます。また日頃より三井住友銀行をご利用頂きまして、有難うございます。この場を借りまして厚くお礼申し上げます。先ずはプロフィールです。今年で50歳になります。経歴につきましては法人担当部署が大半。国内支店を経て、シンジケートローンなどの部

宜しくお礼申し上げます。先ずはプロフィールです。今年で50歳になります。経歴につきましては法人担当部署が大半。国内支店を経て、シンジケートローンなどの部

署、業界担当部署、本店営業部後、2年間出向し、TMT業界の企業に対しクリエイティブファイナンスやM&Aを経験、その後本店営業部に戻りまして、昨年4月に諏訪に赴任いたしました。ちなみに、南北150キロの地域を担当させて頂いております

次に趣味ですが、海釣り、プラモデルから始まって、ただ好きな事を含めると20位あります。例えば、映画鑑賞と同じ映画の中でもSTARWARSは違うものとなります、プラモデルとガンダムも同様、異なるジャンルになります。また釣りに加えて「魚」も趣味の1つと考えておりまして、魚そのものを探求する事が大好きです。イメージとしては、水族館に行って泳いでいる魚はほぼほぼ見てわかります。本来であれば銀行、銀行業務に関する事をお話するものだと思いますが、私を知って頂くという観点で「魚」に関するテーマを選んでみました。

#日本人にとっての「サケ」と「マス」の違いは何か？#  
なぜこのテーマを探求したかについてですが、発端は数年前にあった「食品の虚偽表示問題」です。この諏訪の地に赴任し、信州サーモンや信濃雪鱒といった美味しい魚に出会った事も今回改めて調査・編集した次第です。その食品虚偽表示問題は、サケについて言えば「サケ」の代わりに「ニジマス」の海洋洋食である「サーモントラウト」が使われていたというものでして、顛末から言えば「味や身質の面からもサケと同じで消費者に受け入れられている」という事で収まったのですが、魚を知る私からすると、「ニジマス」を「サケ」と呼ぶ事に抵抗があり、このテーマを自分なりに探求し始めたという経緯です。

それでは、「サケ・マス」類の代表的な魚を見て行きましょう。シロザケ、キングサーモン、ベニザケ、ギンザケ、因みにベニザケはいつも真っ赤ではありません。



通常は銀色です。これは産卵期の婚姻色です。次に淡水系の魚たち。山女とサクラマスは、同じ魚です。山女を陸封型、サクラマスを降海型といいます。さて、生物学上の分類です。サケ科とは大きく3つに大きく分けられますが、生物学上の分類において、サケ、マスの区別はありません。

サケ属の中にもサケもマスも入っております。次に陸封型と降海型です。参考までに、その年に生まれた稚魚の25%がオスの山女となり、川に残り50%がオス、25%がメスの合計75%がサクラマスになって海に下ったという記録があるそうです。その他、サケ・マス類にはそうした種類が多数確認されております。次に英名のルールです。降海型をサーモン、陸封型をトラウト。標準和名はこうはいかない。サケとマスが混在しています。ここで標準和名の矛盾点を整理しましょう。キングサーモン、マス

①シロザケ/シロザケ(白鮭)	降海	食用/国内天然物…「鮭・サケ」と言えばこの魚
③ベニザケ/ベニザケ(紅鮭)	降海	食用/輸入(ロシア、北米)
④ギンザケ/ギンザケ(銀鮭)	降海	食用/養殖(国内・南米)
⑩アトランティックサーモン/大西洋サケ	降海	食用/養殖(北米)…ノルウェーサーモンの名称でも普及
②キングサーモン/マスノスケ	降海	食用/輸入(ロシア、北米)主体…流通はキングサーモンの名称
⑤サクラマス/サクラマス	降海	食用/国内天然物…富山名産「ます寿司」で著名
⑨カラフトマス/カラフトマス	降海	加工食品用、食用/国内天然物
⑦アママス/アママス	降海	遊漁用/在来種…世間一般の認知度は低い
⑧ニジマス/ニジマス	陸封	遊漁用、食用/海洋養殖(南米、北米)…サーモントラウト
⑪ブラウントラウト/ブラウントラウト	陸封	遊漁用/外來種…世間一般の認知度は低い
⑬シノユキマス/シノユキマス(信濃雪鱒)	陸封	食用/養殖(国内)…鮮度保持が難しく、やや希少性あり

日本人にとって、食用としてポピュラーな種類は「サケ・サーモン」と呼ばれていることが想定される  
しかし、近年になって輸入されている「アトランティックサーモン」「ニジマス(サーモントラウト)」を除外すると、英名「キングサーモン」を、何故、日本人は「マスノスケ」と呼んだのだろうか？

ノスケはサケ類の中で一番大きい魚です。日本でサケと呼ばれている魚を整理してみました。(上スライド)日本に昔から定着している魚では無いのです。日本人にとってサケをシロザケだけをサケと呼んでいたのです。ここでマスノスケに疑問が出来ます。シロザケだけをサケと呼んでいることによりマスで呼ぶしかないこととなり、サケノスケではなく、マスノスケと呼ぶようになりました。まとめとして、商業的な理由により、塩干加工や燻製等によって「シロザケ」の代用品となる魚種も「～サケ/～鮭」と命名となります。「シロザケ」と「シロザケ」の代用品となる魚種以外の「サケ・マス」類は総じて「～マス/～鱒」と命名します。「～サーモン」は「生食」も可能な養殖物の商品名として使用しているものとなります。

#### ◆今後の例会日程

5月24日	金	ゴルフ例会(諏訪湖カントリークラブ)
5月31日	金	休日
6月7日	金	クラブ協議会
6月14日	金	創立62周年

執筆担当 北澤光彦